

# 第二次京極町子どもの読書活動推進計画

(平成30年度～平成34年度)



平成30年7月

京極町子どもの読書活動計画策定委員会

京極町生涯学習委員地域子ども部会

京極町教育委員会



## 目次

第1章 計画の基本的な考え方	3
1 計画の目的	3
2 第一次計画の成果と課題	3
3 第二次計画アンケートの調査の結果と分析	3
4 第二次計画の取組の指針	4
(1) 読書の楽しさや面白さを伝えるための啓発活動	4
(2) 読書習慣を身につけるための環境作りと機会の提供	4
(3) 学校、家庭、地域、関係機関が連携した読書活動の推進	4
5 第二次計画	4
第2章 計画の指針と具体的な取組	5
1 読書の楽しさや面白さを伝えるための啓発活動	5
(1) ブックスタート事業	5
(2) おはなし会	5
(3) 児童書の展示	5
(4) 読書手帳の配布	5
(5) 各施設の情報発信	5
(6) 読み聞かせの研修会	5
2 読書習慣を身につけるための環境作りと機会の提供	6
(1) 湧学館図書室の環境整備	6
(2) 湧学館まつりと夏休み・冬休みスペシャルウィークの実施	6
(3) 読書感想文コンクールの実施	6
3 学校、家庭、地域、関係機関が連携した読書活動の推進	6
(1) 学校図書室と湧学館図書室との連携	6
(2) 子どもの読書活動を支援する団体との連携	6
(3) 読書活動に関するボランティアの養成	7
子どもの読書活動推進計画策定委員会	8
(1) 子どもの読書活動推進計画策定	8
(2) 読書アンケートの実施	8
(3) 京極町子どもの読書活動推進計画策定事務局	8
資料・用語解説	9
資料	9
(1) 第一次京極町子どもの読書活動推進計画の成果(実績)と課題	9
(2) 京極町の蔵書数	17
(3) 第二次計画アンケートの調査の結果と分析	17

用語解説 ..... 23

# 第1章 計画の基本的な考え方

## 1 計画の目的

京極町においては、平成25年に「京極町子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもたちがあらゆる機会や場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう環境整備を図ることを目指し、子どもたちの読書活動の推進に取り組んできました。

一方、子どもたちの取り巻く生活環境は、インターネットやスマートフォンの普及などによる情報メディアの発達により大きく変化し、子どもたちの活字離れ、読書離れが指摘されています。

読書の素晴らしさの一つは、「考える力を育てる」ことです。子どもたちは、読書からさまざまなヒントを得て、物事を考えたり学ぶことができます。読書をとおして自分の一生を支えるような感動を得ることもできます。

子どもの読書活動の推進に関する法律では、「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである」としています。

子どもたちが成長段階に合わせて、自然に読書を楽しむことができるよう、家庭、学校等を通じた地域全体で本に親しむ環境を整備する必要があります。

## 2 第一次計画の成果と課題

幼児や小学生を対象とした取り組みについては、概ね計画どおり実施できましたが、それに対して中学生を対象とした取り組みが少なく、中学生に向けた読書啓蒙のための活動がさらに必要です。

第一次計画で掲げた「読書活動に関するボランティアの養成・活用」が思うような成果を上げることができませんでした。

第一次計画の成果と課題および蔵書数は、それぞれ資料1、資料2のとおりです。

## 3 第二次計画アンケートの調査の結果と分析

アンケート調査の結果、家庭・学校(保育園)・湧学館図書室が連携して、子どもたちの読書のきっかけを作り、本に興味、関心を持つための取組を継続することの重要性が示されました。

アンケートの調査の結果と分析は資料3のとおりです。

## 4 第二次計画の取組の指針

第一次計画の成果と課題、アンケート調査の結果と分析及び地域の実情などをもとに、つぎのとおり取り組みの指針を設定します。

### (1) 読書の楽しさや面白さを伝えるための啓発活動

子どもの読書習慣は、日常の生活をとおして形成されるものであり、家庭において子どもの読書活動の機会の充実と読書習慣の定着が図られるよう積極的に取り組む必要があります。

読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするなど、家庭での読書活動を通じて家族のコミュニケーションを図る「家読（うちどく）」を推奨します。また、ブックスタート事業などさまざまな活動をとおして、読書の楽しさや面白さを伝えます。

### (2) 読書習慣を身につけるための環境作りと機会の提供

読書習慣を身につけるために、子どもたちが身近に本を感じることができる環境作りと、子どもたちが好奇心を持ちつつ自主的に参加できる機会の提供が重要です。

湧学館図書室の資料の選定と購入を進め、その充実を図ります。

読書によって得られた知識や好奇心がより広まり深くなるように、子どもたちの夏休み、冬休みなどに映画上映会や、工作教室などの体験学習を開催します。

読書をとおして、自分の意見をまとめ、表現する力を養うため、読書感想文コンクールを行います。

### (3) 学校、家庭、地域、関係機関が連携した読書活動の推進

学校の図書室と湧学館図書室が連携し、団体貸出や学校に出向いて読み聞かせやブックトークを行い子どもたちの読書環境の整備を支援します。

子育てサークルやPTAなど関係団体と情報交換や意見交換を行い、子どもの読書推進を行います。

読み聞かせ会や、図書館資料の整理などにボランティアとして参加しやすい体制を作り、養成に努めます。

## 5 第二次計画

計画の期間を、平成30年度から平成34年度までの5カ年とします。ただし、社会情勢の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

## 第2章 計画の指針と具体的な取組

### 1 読書の楽しさや面白さを伝えるための啓発活動

#### (1) ブックスタート事業

乳児の健康相談時に絵本を配布し、読み聞かせを行い、保護者と乳児に絵本の楽しさを知ってもらいます。

絵本を介して親子がかけがえのないひとときを過ごすことを応援します。

#### (2) おはなし会

湧学館まつりなどで実施してきましたが、毎月定期的に行い、子どもたちに多くの絵本や紙芝居に触れる機会を増やします。

#### (3) 児童書の展示

子どもたちがよりよい児童書に出会う機会を増やすために、つぎのとおり湧学館内で図書を展示し紹介します。

- ① 児童書のテーマ別の展示
- ② 文学賞受賞作の展示
- ③ 新聞書評欄掲載図書の展示
- ④ 青少年読書感想文コンクール課題図書の展示
- ⑤ 北海道青少年のための200冊の展示

#### (4) 読書手帳の配布

子どもたちに読書への関心を深めてもらうために、読んだ図書やそのお気に入り度を記録する手帳を配布します。

#### (5) 各施設の情報発信

保育園、小中学校、湧学館などでそれぞれ情報紙を発行し、読書の面白さを啓発します。

#### (6) 読み聞かせの研修会

子育てサークルや保護者を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせの研修会を実施し、より多くの子どもたちの読書活動に携わっていただきます。

## 2 読書習慣を身につけるための環境作りと機会の提供

### (1) 湧学館図書室の環境整備

一般書、児童書の図書資料ならびにDVD等の視聴覚資料の選定、購入を計画的に進めていきます。

中学生、高校生向きの図書を集めたヤングアダルトコーナーを新設して、中高生の利用促進を図ります。

貸出冊数を1回につき、5冊から10冊に増やし、より多くの本を借りたいという市民の要望に応じていきます。

### (2) 湧学館まつりと夏休み・冬休みスペシャルウィークの実施

毎年10月に行われる「湧学館まつり」や小中学校の夏休み、冬休み期間に行う「スペシャルウィーク」では、本に関わるさまざまな体験や経験ができるよう、映画上映会やおはなし会、工作教室、読書クイズ、一日司書体験、本の修復活動などのイベントを開催し、多くの小中学生に楽しんでもらう機会を提供します。

### (3) 読書感想文コンクールの実施

子どもたちが本を読むことをとおして、自分を見つめ直したり、自分の考えをまとめる力を養うことを目的に、読書感想文コンクールを実施します。

夏休みや冬休みに読んだ本の感想文を応募してもらい、学年ごとの審査により最優秀賞、優秀賞、佳作の三賞を選考し表彰します。入選作品は、作品集として発行します。

## 3 学校、家庭、地域、関係機関が連携した読書活動の推進

### (1) 学校図書室と湧学館図書室との連携

小中学校の図書室を活性化するために、学校への団体貸出、図書室の運営相談を実施します。

司書が学校に出向いてブックトークや読み聞かせを行う出前図書活動をします。また、子どもたちの調べる力を育てるために、学校図書室や湧学館図書室を使って調べる方法を学ぶ講座を開催します。

### (2) 子どもの読書活動を支援する団体との連携

子育てサークルや幼児交流倶楽部、学校のPTA、子育て支援センターなどの団体と、活動状況の情報交換とそれぞれが抱える課題の意見交換を行い、子どもの読書推進に向けた具体的な活動につなげます。

### (3) 読書活動に関するボランティアの養成

他の市町村では、絵本の読み聞かせ、図書修復、図書室支援など読書活動に関するさまざまなボランティアが盛んに行われていますが、京極町ではほとんど行われていない状況です。

このため、他町村のボランティア活動を紹介し、啓発活動を行うほか、ボランティアに関する講座を開いて、個人や団体へ参加を呼びかけます。

## 子どもの読書活動推進計画策定委員会

### (1) 子どもの読書活動推進計画策定

委員名

委員長	柳原 保	識見者
副委員長	駒田 拓朗	P T A 連合会
委員	藤原 正樹	保育園父母の会
委員	根井 朗夫	校長会
委員	加藤 正志	体育協会

委員会の開催

第1回 平成30年2月23日

- ・第2次京極町子どもの読書活動推進計画について
- ・読書アンケートの実施について

第2回 平成30年7月9日

- ・読書アンケートの結果について
- ・第2次京極町子どもの読書活動推進計画について

### (2) 読書アンケートの実施

実施時期 平成30年2月27日(火)～3月13日(火)

対 象 保育園及び小学校の全児童とその保護者  
中学校の全生徒とその保護者

回収人数 392人

### (3) 京極町子どもの読書活動推進計画策定事務局

湧学館長(生涯学習課長)	小野寺 健 平成30年3月まで
湧学館長(生涯学習課長)	長谷川 満 平成30年4月から
湧学館副館長(司書)	野口 陽一
湧学館・奉仕係長	小川 絵梨香

## 資料・用語解説

### 資料

#### (1) 第一次京極町子どもの読書活動推進計画の成果(実績)と課題

推進目標	意識の啓発	意識の啓発
推進項目	ブックスタート事業	おはなし会
実績等	平成 25 年度 9 回実施、24 名参加 平成 26 年度 9 回実施、14 名参加 平成 27 年度 9 回実施、20 名参加 平成 28 年度 8 回実施、21 名参加 平成 29 年度 7 回実施、24 名参加	平成 25 年度 5 名参加 平成 26 年度 6 回実施、40 名参加 平成 27 年度 7 回実施、77 名参加 平成 28 年度 7 回実施、71 名参加 平成 29 年度 7 回実施、80 名参加
評価等	アンケートでも家庭での読書につながった。今後も続けてほしいという声も多く、意識の啓発につながっていると考えられる。	月1回の定期開催では参加者が集まらず、イベントに合わせて開催。ボランティアも増えたが、自主的に動いてもらえる体制ではない。

推進目標	意識の啓発	意識の啓発
推進項目	出前図書館事業 京小	出前図書館事業 南京小
実績等	平成 25 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 26 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 27 年度 6 回実施(各学年 1 回、授業時間)	平成 25 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 26 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 27 年度 9 回実施(全児童対象、昼休み)

	平成 28 年度 6 回実施(各学年 1 回、授業時間) 平成 29 年度 6 回実施(各学年 1 回、授業時間)	平成 28 年度 9 回実施(全児童対象、昼休み) 平成 29 年度 閉校のため実績なし
評価等	国語の時間に訪問。時間はあるが回数が年 1 回なので、もう少し何かできれば。	昼休み月 1 回程度訪問。時間は短いものの、毎月新しい本があるという習慣がついた。

推進目標	意識の啓発	意識の啓発
推進項目	出前図書館事業 京中	子どもの読書の日
実績等	平成 25 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 26 年度 京小、南京小、京中合わせて 28 回実施 平成 27 年度 12 回実施(読書新聞 11 回、夏休み 前図書貸出 1 回) 平成 28 年度 12 回実施(読書新聞 11 回、夏休み 前図書貸出 1 回) 平成 29 年度 12 回実施(読書新聞 11 回、夏休み 前図書貸出 1 回)	平成 25 年度 ポスターの掲示 平成 26 年度 ポスターの掲示 平成 27 年度 ポスターの掲示 平成 28 年度 ポスターの掲示 平成 29 年度 ポスターの掲示
評価等	読書新聞での情報発信が中心。図書を持参する機会は少なかったが、読書感想文コンクール入選者へのインタビューなどで、読書への啓発に繋がられた	ポスターの掲示のほか、こどもの読書週間と関連づけた資料展示などと合わせて PR を実施した。

推進目標	意識の啓発	意識の啓発
推進項目	子どもの読書活動研修会	読書感想文コンクール
実績等	<p>平成 25 年度 実績なし</p> <p>平成 26 年度 実績なし</p> <p>平成 27 年度 読み聞かせのためのセリフ表現 講座(9/19 開催、25 名出席)</p> <p>平成 28 年度 実績なし</p> <p>平成 29 年度 実績なし</p>	<p>平成 25 年度 応募 235 名</p> <p>平成 26 年度 応募 251 名</p> <p>平成 27 年度 応募 259 名</p> <p>平成 28 年度 応募 249 名</p> <p>平成 29 年度 応募 262 名</p>
評価等	H27 の研修会では、町内外から参加者が集まった。おはなし会の実践も行ったが、なかなかその後に繋げられなかった。	国語教科書で感想文を扱う時間がないため、特に小学低学年で苦勞しているという声がある。

推進目標	意識の啓発	意識の啓発
推進項目	読書活動の啓発	湧学館まつり
実績等	<p>平成 25 年度 実施</p> <p>平成 26 年度 実施</p> <p>平成 27 年度 運動会振替休日の臨時開館 おすすめ本紹介の配布</p> <p>平成 28 年度 運動会振替休日の臨時開館 おすすめ本紹介の配布</p> <p>平成 29 年度 運動会振替休日の臨時開館 おすすめ本紹介の配布</p>	<p>平成 25 年度 10/26 開催、約 130 名参加</p> <p>平成 26 年度 10/25 開催、約 200 名参加</p> <p>平成 27 年度 10/24 開催、約 200 名参加</p> <p>平成 28 年度 10/22 開催、約 200 名参加</p> <p>平成 29 年度 10/28 開催、約 150 名参加</p>

評価等	広報での新着図書紹介や、小学校へ配布したおすすめ本紹介は、掲載本への問い合わせもある。	読書だけでなく様々なイベントで湧学館へ足を運んでもらうことで、本を手にする機会に繋がっている。
-----	---	---

推進目標	取り組みへの支援	取り組みへの支援
推進項目	団体育成計画	図書ボランティア講座 (一日司書体験)
実績等	平成 25 年度 具体的な取組なし 平成 26 年度 具体的な取組なし 平成 27 年度 具体的な取組なし 平成 28 年度 具体的な取組なし 平成 29 年度 具体的な取組なし	平成 25 年度 実施 平成 26 年度 夏冬イベント時に1日司書体験実施 平成 27 年度 夏冬イベント時に1日司書体験実施 平成 28 年度 夏冬イベント時に1日司書体験実施 平成 29 年度 夏冬イベント時に1日司書体験実施
評価等	一般の方からのボランティアの申し出はあるが、随時参加を依頼している状況で、組織化・団体育成までの実施はできなかった。	小学4年生以上を対象にした司書体験・ボランティアは図書に興味のある子どもたちからの参加があり、体験によりさらにその興味を深められている。

推進目標	環境整備	環境整備
推進項目	おすすめ本の情報提供	各種情報の収集・提供
実績等	平成 25 年度 随時実施 平成 26 年度 随時実施 平成 27 年度 随時実施 平成 28 年度 随時実施 平成 29 年度 随時実施	平成 25 年度 随時実施 平成 26 年度 随時実施 平成 27 年度 随時実施 平成 28 年度 随時実施 平成 29 年度 随時実施
評価等	新刊書、書評掲載書、テーマに沿った本の展示など、広くおすすめ本の情報提供を行った。	利用者からの問い合わせに関する情報の収集・提供など随時行っている。

推進目標	環境整備	環境整備
推進項目	図書 A V 購入	子どもの読書週間
実績等	平成 25 年度 児童書 694 冊 平成 26 年度 児童書 785 冊 平成 27 年度 児童書 823 冊 平成 28 年度 児童書 715 冊 平成 29 年度 児童書 858 冊	平成 25 年度 広報周知、資料展示 平成 26 年度 広報周知、資料展示 平成 27 年度 広報周知、資料展示 平成 28 年度 広報周知、資料展示 資料展示「まるの本」 平成 29 年度 広報周知、資料展示 資料展示「おおきな〇〇」
評価等	京極小学校へ年 5 回程度団体貸出としてクラスに配本。選書は担任が行っており、本をすぐ手に取れる環境に繋げた。	期間中は児童書の展示を行い、本の貸出上限を増やすことで、より手取りやすい環境を整えた。

推進目標	環境整備	環境整備
推進項目	感想文コンクール課題図書	北海道青少年のための200冊
実績等	平成25年度 実施 平成26年度 実施 平成27年度 実施 平成28年度 実施 平成29年度 実施	平成25年度 展示・貸出 学校への情報提供 平成26年度 展示・貸出 学校への情報提供 平成27年度 展示・貸出 学校への情報提供 平成28年度 展示・貸出 学校への情報提供 平成29年度 展示・貸出 学校への情報提供
評価等	各学年の課題図書を積極的に収集し紹介した。	各学年に合わせた図書を積極的に収集し紹介した。

推進目標	環境整備	環境整備
推進項目	夏冬イベント	司書による情報提供・指導体制
実績等	平成25年度 夏 8/01～03 開催、250名参加 冬 1/08～11 開催、250名参加 平成26年度 夏 8/05～08 開催、366名参加 冬 1/14～17 開催、169名参加 平成27年度 夏 8/04～06 開催、205名参加 冬 1/14～16 開催、206名参加 平成28年度 夏 8/08～10 開催、270名参加	平成25年度 随時実施 平成26年度 随時実施 平成27年度 随時実施 平成28年度 随時実施 平成29年度 随時実施 4月、京小図書室整備

	冬 1/12～14 開催、300 名参加 平成 29 年度 夏 8/01～10 開催、180 名参加 冬 1/11～13 開催、120 名参加	
評価等	図書を使ったオリエンテーリングなどのイベントのほか、読み聞かせ・工作などを実施し、楽しく本に触れられる機会となった。	平成 29 年 3 月に閉校した南京極小学校の図書を京極小学校へ移し、それに伴って京極小学校の蔵書を整理・除籍した。

推進目標	その他	その他
推進項目	10 冊貸出（こどもの読書週間/夏休み/読書週間/冬休み）	学校図書室蔵書点検
実績等	平成 25 年度 実施 平成 26 年度 実施 平成 27 年度 実施 平成 28 年度 実施 平成 29 年度 実施	平成 25 年度 実施 平成 26 年度 実施 平成 27 年度 実施 平成 28 年度 実施 平成 29 年度 実施
評価等	年 4 回、子どもたちの読書の機会が増えるよう、それぞれの期間に実施してした。	年に 1 回実施。各校の蔵書と湧学館の登録情報との整合性が高まり、各校の蔵書管理向上につながる

推進目標	その他	その他
推進項目	その他	新規事業
実績等	平成 25 年度 特記事項なし 平成 26 年度	平成 25 年度 特記事項なし 平成 26 年度

	<p>11/3 湧学館で遊びリンピック (楽しく本に親しめるゲーム)</p> <p>平成 27 年度 システム更新 OPAC の利便性向上 (レシート出力、場所案内) オンライン予約システム</p> <p>平成 28 年度 ブックスタートアンケートの実施</p> <p>平成 29 年度 特記事項なし</p>	<p>ぶつくぶくろ 来館スタンプカード</p> <p>平成 27 年度 運動会振替休日の臨時開館 読書手帳配布</p> <p>平成 28 年度 川向氏寄付金による学校図書購入 (H28~30 の 3 ヶ年予定)</p> <p>平成 29 年度 特記事項なし</p>
<p>評価等</p>	<p>上記の新規取組は、実施年度より継続している。</p>	<p>上記の新規取組は、実施年度より継続している。</p>

## (2) 京極町の蔵書数

施設名	一般書	児童書	録音図書	雑誌	合計
湧学館	49,215	23,514	215	2,667	75,611
京極小学校	68	6,658			6,726
京極中学校	4,164	1,675			5,839
子育て支援センター	64	4,731			4,795
合計	53,511	36,578	215	2,667	92,971

## (3) 第二次計画アンケートの調査の結果と分析

### 第二次京極町子どもの読書活動推進計画アンケート調査

幼児	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
	1	2	9	9	10	9	40

小学生	1年生	2年生	3年生	小1～小3	4年生	5年生	6年生	小4～小6	計
	19	17	30	66	27	27	16	70	136

中学生	1年生	2年生	3年生	計
	21	21	9	51

区分	男	女	計
幼児	24	16	40
小1～小3	32	34	66
小4～小6	37	33	70
中学生	24	27	51
計	117	110	227

質問1 あなたは本を読む(読み聞かせてもらう)ことが好きですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
好き	34	87.2%	48	72.7%	45	64.3%	23	45.1%	150	66.4%
嫌い	1	2.6%	4	6.1%	7	10.0%	6	11.8%	18	8.0%
どちらでもない	4	10.3%	14	21.2%	18	25.7%	22	43.1%	58	25.7%
無回答、他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	39		66		70		51		226	

質問2 質問1で「嫌い」と回答した場合、その理由はどうしてですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
読むのが面倒	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	1	16.7%	4	22.2%
興味がない	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	11.1%
読むのが苦手	0	0.0%	1	25.0%	1	14.3%	2	33.3%	4	22.2%
その他	0	0.0%	3	75.0%	3	42.9%	2	33.3%	8	44.4%
計	1		4		7		6		18	

質問3 あなたは1ヶ月のうち、だいたい何冊の本を読みますか(マンガ以外)

※小学校においては、朝読書の取組があるため、学校以外での読書冊数を質問

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
1～2冊	5	12.5%	19	29.2%	23	32.9%	17	33.3%	64	28.3%
3～4冊	11	27.5%	13	20.0%	8	11.4%	8	15.7%	40	17.7%
5～6冊	7	17.5%	7	10.8%	12	17.1%	3	5.9%	29	12.8%
7～8冊	3	7.5%	4	6.2%	1	1.4%	0	0.0%	8	3.5%
9～10冊	4	10.0%	5	7.7%	3	4.3%	1	2.0%	13	5.8%
11冊以上	7	17.5%	8	12.3%	4	5.7%	3	5.9%	22	9.7%
全然読まない	3	7.5%	9	13.8%	19	27.1%	19	37.3%	50	22.1%
計	40		65		70		51		226	

質問4 質問3で「全然読まない」と答えた場合、その理由はどうしてですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
読みたい本がない	0	0.0%	4	44.4%	7	36.8%	9	47.4%	20	40.0%
読みたい本があるけれど時間がない	2	66.7%	1	11.1%	5	26.3%	5	26.3%	13	26.0%
その他	1	33.3%	4	44.4%	7	36.8%	5	26.3%	17	34.0%
計	3		9		19		19		50	

質問5 質問3で「読みたい本があるけれど時間がない」と答えた場合、その理由はどうしてですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
家事育児	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%
少年団	0	0.0%	1	50.0%	3	42.9%	0	0.0%	4	22.2%
習い事(趣味)	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	3	16.7%
勉強	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	3	16.7%
遊び・ゲーム・	0	0.0%	1	50.0%	2	28.6%	0	0.0%	3	16.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	3	16.7%
計	2		2		7		7		18	

質問6 あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
家	33	68.8%	37	50.0%	32	41.6%	28	50.9%	130	51.2%
学校	0	0.0%	29	39.2%	39	50.6%	23	41.8%	91	35.8%
友達の家	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
湧学館図書	2	4.2%	8	10.8%	6	7.8%	4	7.3%	20	7.9%
その他	13	27.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	5.1%
計	48		74		77		55		254	

質問7 家族に本を読んでもらっていますか(いましたか)

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
読んでもらっている(いた)			33	50.0%	60	87.0%	44	86.3%	137	73.7%
読んでもらっていない(いなかった)			33	50.0%	9	13.0%	7	13.7%	49	26.3%
計			66		69		51		186	

質問8 本を読んでもらえるのは、どんな人が多いですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
母			25	56.8%	51	73.9%	38	73.1%	114	69.1%
父			8	18.2%	10	14.5%	8	15.4%	26	15.8%
祖母			6	13.6%	6	8.7%	4	7.7%	16	9.7%
祖父			3	6.8%	1	1.4%	2	3.8%	6	3.6%
その他			2	4.5%	1	1.4%	0	0.0%	3	1.8%
計			44		69		52		165	

質問9 あなたは、家に帰ってからいつも何をすることが多いですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
テレビを見る	18	32.1%	19	20.7%	19	17.9%	17	23.9%	73	22.5%
習い事・少年団・部活動	2	3.6%	20	21.7%	24	22.6%	13	18.3%	59	18.2%
勉強する	1	1.8%	21	22.8%	31	29.2%	11	15.5%	64	19.7%
ゲームをする	7	12.5%	12	13.0%	26	24.5%	19	26.8%	64	19.7%
友達や兄弟姉妹と遊ぶ	15	26.8%	12	13.0%	4	3.8%	2	2.8%	33	10.2%
本を読む	5	8.9%	6	6.5%	0	0.0%	4	5.6%	15	4.6%
その他	8	14.3%	2	2.2%	2	1.9%	5	7.0%	17	5.2%
計	56		92		106		71		325	

質問10 家族の中で、本の話を読みますか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
する	12	30.8%	8	12.1%	3	4.4%	6	11.8%	29	12.9%
たまにする	21	53.8%	35	53.0%	32	47.1%	12	23.5%	100	44.6%
しない	6	15.4%	23	34.8%	33	48.5%	33	64.7%	95	42.4%
計	39		66		68		51		224	

質問11 あなたは、どのくらい湧学館図書で本を借りますか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
月に1～2回			21	31.8%	16	23.5%	14	27.5%	51	27.6%
月に3回以上			15	22.7%	17	25.0%	5	9.8%	37	20.0%
年に1～2回			8	12.1%	4	5.9%	5	9.8%	17	9.2%
年に3～4回			9	13.6%	1	1.5%	4	7.8%	14	7.6%
年に5～11回			5	7.6%	15	22.1%	11	21.6%	31	16.8%
全然行かない			8	12.1%	15	22.1%	12	23.5%	35	18.9%
計			66		68		51		185	

質問12 質問11で「全然行かない」と答えた場合、その理由はどうしてですか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
本を読むのが嫌い・興味がない			0	0.0%	4	26.7%	5	41.7%	9	25.7%
本を読みたいが時間がない			1	12.5%	2	13.3%	2	16.7%	5	14.3%
読みたい本は買うので			2	25.0%	2	13.3%	5	41.7%	9	25.7%
学校に読みたい本があるので			5	62.5%	6	40.0%	0	0.0%	11	31.4%
その他			0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	2.9%
計			8		15		12		35	

質問13 本を借りたりするほかに、湧学館図書に行ったことはありますか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
ある					60	90.9%	41	80.4%	101	86.3%
ない					6	9.1%	10	19.6%	16	13.7%
計					66		51		117	

質問14 湧学館では、本を借りたりする以外にも様々な行事を行っていますが、行ったことはありますか

回答\区分	幼児		小1～小3		小4～小6		中学生		計	
ある			25	75.8%	51	83.6%	38	82.6%	114	81.4%
ない			8	24.2%	10	16.4%	8	17.4%	26	18.6%
計			33		61		46		140	

## 第二次京極町子どもの読書活動推進計画アンケート調査の分析

今回のアンケート調査の結果を前回のアンケートと比較して分析しましたが、その要点は次のとおりです。

まず、アンケートの回収率が前回よりも増加しました。前は配布数が507枚、回収数が329枚で回収率が64.9%でした。今回は配布数が439枚、回収数が392枚で回収率が89.3%と大幅に増加し、子どもたちの読書実態や傾向がより正確に反映されたものになりました。

質問1の「本を読むことが好きですか」については、「好き」と答えた人が、全体で66.4%(前回61.7%)でした。年代別に見ると、中学生は、前回より「好き」と答えた人が約15%減り、「どちらでもない」と答えた人が約15%増えました。これらの要因としてさまざま考えられますが、その一因として読書に関する関心が低下していると思われます。引き続き読書に関心が持てるよう、中学生に向けた読書推進の取り組みが重要となります。

質問2の「嫌い」な理由については、全体で「読むのが面倒あるいは苦手」と答えた人が44.4%で、「興味がない」と答えた人が11.1%でした。

質問3の「1月に何冊本を読みますか」については、「全く読まない」が全体で22.1%(前回20.3%)と1.8%増加しました。「全く読まない」読者層に「どうしたら本を手にとってもらえるか」といった働きかけが今後の課題となります。

質問4の「全く読まない理由」については、「読みたい本がない」と答えた人が40.0%また、「時間がない、忙しい」と答えた人が26.0%でした。

「読みたい本がない」と答えた人の中には、湧学館図書室のリクエスト制度などのサービスが、利用者に知られていないことが考えられますので、更に情報発信に努める必要があります。

質問5の「時間がない、忙しい」の主な理由については、小4～小6では「少年団や遊び・ゲーム」(合わせて71.4%)となり、中学生では「習い事(趣味)や勉強」(合わせて57.1%)となりました。

質問6の「どこで本を読むことが多いか」については、小学生、中学生については、いずれも約9割の人が、「家」または「学校」と答えています。前回に比べ「湧学館」が2.2%減少となりました。今後もこの回答が増加に転ずるような事業展開が求められます。

質問7の「家族に本を読んでもらった経験」について、質問8の「誰に読んでもらったか」については、「読んでもらっている(いた)」と答えた人が73.7%、また、子どもたちに本を読んでもくれるのは「父母」とする回答が、あわせて84.9%で、前回より約5%増加しました。このことから、親の世代の読書に対する意識が向上したことがうか

がえます。これはブックスタートを実施してきたことによる成果の一つと考えることができます。

質問9の「帰宅後の行動」については、「テレビを見る、ゲームをする、友だちと遊ぶ」の合計が52.4%(前回62.6%)と約10%減りました。それに対し「部活や少年団の活動をする、勉強する、本を読む」等の合計が42.5%(前回32.1%)と約10%アップしました。このことは遊び系の行動が減り、活動系・勉強系の行動が増えたことを示したもので、全体として子どもたちが忙しい日常生活を送っている様子が見て取れます。

質問10の「家族の中で本のお話をしますか」については、「する・たまにする」が全体で57.6%(前回57.1%)となり、同様の値となりました。今後も「家読」を推奨していく必要があります。

質問11の「湧学館の図書を借りる頻度」については、「全然行かない」人が、18.9%(前回19.5%)となりました。

質問12の「湧学館の図書を全く借りない理由」を聞いたところ、「学校図書室に読みたい本があるから」という回答が、31.4%(前回15.8%)となり、大きく伸びました。これは学校図書室、とりわけ小学校への各種の支援サービスの成果と考えられます。

また、「読みたい本は買うので」という回答が25.7%(前回5.3%)となりました。購入の理由は不明ですが、小学生高学年から中学生にかけて、興味のあるジャンルが少しずつ変化し、多様化しているためではないかと推察されます。

質問13と14の「湧学館の行事への参加等」については、「参加したことがある」という回答が双方とも80%を超え高い数字となりましたので、引き続き今後も様々な事業を実施していきます。

今回のアンケート調査結果から、子どもの読書活動を推進するためには、乳幼児期から中学校期までの各年代において、家庭・学校(保育園)・湧学館学館図書室がそれぞれ連携して、子どもたちの読書のきっかけを作り、本に興味や関心を持つための取り組みを継続することが重要であります。あわせて、子どもたちを取り巻く社会環境が急速に変化していることから、興味のあるジャンルが少しずつ変化し、多様化して行くと思われ、子どもたちの身近にある蔵書の充実を図る必要があります。

## 用語解説

### 家読（うちどく）

家読(家読)とは、家庭読書の略語で、家族ふれあい読書を意味し、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動です。

### 子どもの読書活動の推進に関する法律

すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境整備の推進を求める法律です。

### 子どもの読書の日

出版社や書店などの団体で構成されている「社団法人読書推進運動協議会」が昭和34年に始めたもの。もともとは「こどもの日」をはさんだ5月1日から14日までだったが、平成12年の「子ども読書年」を機に、4月23日から5月12日に変更されました。

### 司書

図書館で、図書の収集・整理・保存・閲覧などの専門的業務を行う職業の人をいいます。資格は、図書館法に規定されています。

### 団体貸出（図書貸出サービス）

「朝の読書活動」用の図書の貸出しなど、学校図書室に対する支援として児童書を1クラス100冊から200冊単位で貸し出す事業の一つです。

### ブックスタート事業

町の乳幼児健診の機会に、受診したすべての親子に対して、図書司書や保健師などがそれぞれの立場から赤ちゃんと保護者が絵本を開くことの大切さや楽しさを伝えながら、絵本や読み聞かせのアドバイスなどの入ったブックスタート・パックを無料で手渡す事業。全ての家庭において、本の読み聞かせを通じて、親子のふれあいの時間をもつことができるよう支援するもの。平成4年にイギリスのバーミンガムで始められました。

## ブックトーク

自動のグループを対象に特定のテーマや特定の作家について、異なるタイプや分野の図書数冊を選び出し、図書館員がそれらの図書について紹介するというものです。児童に対する読書への動機づけとして効果があります。



第二次京極町子どもの読書活動推進計画

平成30年度～平成34年度

発行 京極町教育委員会

編集 京極町子どもの読書活動推進計画策定委員会